

地域ネットワークニュース

～9月の勉強会のお知らせ & 8月の勉強会報告～



第164回 地域ネットワーク勉強会 成年後見制度の理解と活用 ～実践から見えてきたもの～

講師：小林慎二氏〈阿見町社会福祉協議会〉

権利擁護センター「ばあとなあ」登録（社会福祉士/精神保健福祉士）

9月22日(木)
午後7時～午後9時
神栖市保健・福祉会館内
参加費無料

成年後見制度は認知症や知的障害、精神障害などによって判断能力の低下があっても、社会的な不利益を被らないように家庭裁判所に申立てをして、その方を援助してくれる人（成年後見人等）を付けてもらうことで、その人らしい暮らしをお手伝いする制度です。

裁判所で選任された後見人等は本人の財産を守ると同時に、本人のために財産を活用したり、福祉施設の入所契約等の様々な手続きを本人に代わって行います。

成年後見制度の発足から11年が経ち、制度そのものの理解は広まりつつあります。

しかし実際に制度を活用するときに、後見人等がどの立ち位置で本人を支援していくのか、後見人の選任後は、それぞれの支援機関の援助の範囲はどう変わるのか等、実際に後見人等が選任されないと見えてこない部分がたくさんあります。

講師の小林氏には成年後見人としての実践の中から、制度の概要についての説明と、後見人等の選任後の後見人・支援者・サービス提供機関等の本人への関わり方とそれぞれの機関とのチーム支援のあり方についてお話しいたします。

お問合せ：電話 0299-93-0294 神栖市社会福祉協議会 まちづくりグループ 三浦

第163回 地域ネットワーク勉強会報告 8月25日開催〈参加者25名〉

東日本大震災によるいわき市の地域住民支援

福島県いわき市復興支援ボランティアセンター活動報告(6日間)

報告者：神栖市社会福祉協議会 飯田聡



8月8日～13日の6日間にかけて福島県いわき市の復興支援ボランティアセンターのスタッフとして本会の職員1名が支援活動に携わりました。

主な活動は仮住宅として市内11カ所の雇用促進住宅に避難している方々の生活状況の確認とニーズ調査のために、各世帯を一件ずつ訪問して話を伺うことでした。訪問を拒否されることもありましたが、家を失い、家族を失い、仕事を失い…等々、この震災での辛い体験や悲しい思いを包み隠さず話してくれる人たちも多く、「傾聴」する姿勢がとても大切であると感じました。

訪問後のスタッフミーティングでは、会話の中に隠されているニーズを探る毎日でしたが、被災者、スタッフ、ボランティアなどいわき市復興に関わる全ての人が仲間であり、チームであることを知り、こんな時こそチームワークが大切であることを実感しました、と復興状況と合わせて、現地で感じてきた思いを率直に報告させて頂きました。

神栖市社協では今後も茨城県社協と共に調整を図りながら、継続的に復興支援活動に協力していく予定です。